

ポスト小泉

攻防最終章

「いい風だ」。残暑も緩む曇り空の二十八日朝。サングラス姿の麻生太郎(65)は都内有数の高級住宅地にある自宅の周辺を速足で歩く日課をこなした。午前九時前から約三十分。全国に存在をアピールするため日に休日返上で三件のテレビ出演をはじめとした疲れも、表情からは読み取れない。

「麻生先輩、首相になって、よろしくお願います」。二十五日夜、JR八王子駅前のホテル内のバー。麻生はウイスキーのロックを傾けながら青年会議所幹部ら十数人と談笑した。共に活動したOBに企業トップが多いのは心強い。



JC会頭経験者、鴻池議員のパーティーであいさつする麻生外相(28日、都内)

しかし劣勢は否定できない。「地方議会を勉強するなら茨城に行か

「半径2メートルの男」の悩み

たコーヒーをすすりながらぼやいた。間近に古屋から東京に帰る「のぞみ150号」で、愛読する連載ゴルフマンガ「風の大地」最新話を読みながら、麻生は登場人物のセリフに目を留めた。「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

めた日本青年会議所(JC)や独自の地方人脈。五年前の総裁選で小泉純一郎が圧勝したのも地方票の動きが大きかった。

「ダメ」。二十四日の報道各社との会見で麻生は唐突に茨城県議会議長で、全国都道府県議会議長会の会長を務める山口武平(85)を持ち上げた。

局長時代から懇意にしてきた山口は二十三日、安倍と会談している。政策面で安倍との違いを見せにくいのも痛い。

生は、一般のイメージアップが課題。側近の松本純(56)は最近、ベストセラー「人は見た目が9割」(新潮新書)を麻生が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

自民党各派が安倍晋三(51)支持に雪崩を打つ

茨城は東京に次ぐ大票田だが、それだけではなさそうだ。麻生が党青年

「候補が同じ閣内では割引」(新潮新書)を麻生が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

のを横目に、麻生は黨員

「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)

「この雨上がれば風が吹く。強い風が吹いてくる」(敬称略)